



恋する虜

— ジュネ / 身体 / イマージュ —

2008.3.7 fri.-9sun. 京都芸術劇場 春秋座

ダンス: 山田せつ子 砂連尾理 白井剛 寺田みさこ 佐藤健太郎 竹内英明 野淵杏子 京極朋彦

コレオグラフィー: 山田せつ子 砂連尾理 白井剛 引用テキスト: ジャン・ジュネ『恋する虜』(稲飼哲・海老坂武訳、人文書院刊) テキスト引用・編集: 八角聡仁

映像: 伊藤高志 美術: 杉山至 浅沼秀治 サウンド: 稲垣貴士 照明: 高原文江 衣裳: 権田真弓 構成補佐: 相模友士郎

恋する虜 2008.3.7-9

7fri.19:00 / 8sat.16:00 / 9sun.16:00
 京都芸術劇場 春秋座
 ※開場は開演の30分前、受付開始は開演の1時間前



ダンス論を読むように始まったジュネの読み解きから私達のダンスは立ち上がってきた。それは白い紙の上を彷徨う困難な時間だった。しかし、目を凝らし感覚を開いて、互いのからだのありかを見つけていくことは幸福でもあった。およそジュネに相応しくない「幸福」という言葉を傍らに置きながら、「傷」も「痕跡」も「裏切り」も浮上するダンスの場に、生者、死者ともに迎え入れたいと思っている。

山田せつ子(ダンサー・コレオグラファー、京都造形芸術大学教授)

ダンス公演「恋する虜—ジュネ/身体/イメージ—」は、ダンサー、コレオグラファーばかりでなく、美術家、映像作家、批評家、研究者らが集まり、さまざまに交わりながら、ジャン・ジュネの作品を読み、考え、触発されたことを通して、ダンス作品をつくっていくプロジェクトのとりあえずの締めくくりである。2年あまりのプロセスのなかで、パレスチナ問題をめぐる映画上映やシンポジウム、ジュネに関する著作もある鶴飼哲氏や宇野邦一氏を招いての研究会、映像や美術の実験を含む公開リハーサルなどを、多様な形で行ってきた。それは現在の舞台芸術、またその作品づくりのあり方に対する根本的な問いなおしであり、私たちが取り巻く政治的、社会的な状況と舞台表現が本質的なレベルで切り結んでいくための試行であったと考えている。そこではもはやジュネのテキストは作品の「素材」などではなく、切実な思考と実践によってしか「読む」ことができないようなものとして浮かび上がってきた。一つの場所の中に多くの場所が共存すること、孤独であることの内に多くの他者が棲みつくこと。そうしたジュネ特有の倫理は集団による創作の現場へと直結し、芸術と政治的なものが複雑に錯綜した死者への友愛、喪や哀悼の主題は、私たち自身の身近な問題とも重なっていった。そうしたジュネへの応答がどう結実し、身体、映像、美術、音、言語などが舞台上でどのように交錯するのか、どんな空間と時間を創り出すことができるのか。ジュネの作品群とその特異な生の軌跡が、今を生きる誰にとっても大きな意味を持ちつづけていることを改めて実感しながら、公演に向けてようやく確かな手応えを感じつつある。

八角聡仁(批評家、京都造形芸術大学教授)



ジャン・ジュネ(1910-1986)

パリで生まれ、7カ月で母親に遺棄される。父は不詳。国境をこえて転々と放浪しながら窃盗などの罪を重ね、在監中の1942年に詩集「死刑囚」を出版。以後「花のノートルダム」「薔薇の奇蹟」「泥棒日記」「葬儀」など、犯罪者や同性愛者の立場を公然と引き受けた小説群により、コクトー、サルトルらの称賛を受け作家としての名声を獲得。6年間の沈黙の後、1955年から戯曲「黒んぼたち」「バルコン」「屏風」などを発表し、その後の前衛劇の展開に大きな影響を与える。1968年以降はアメリカ黒人解放闘争、パレスチナ解放闘争などに加担しながら特異な政治的ルポルタージュを発表。パレスチナ滞在期の追憶を中心とする長編回想記「恋する虜」が遺作となった。



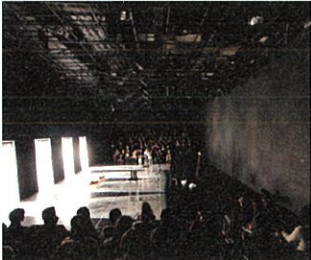
Misako Terada



Osamu Jareo



Tsuyoshi Shirai



07年3月「ジュネに答える8日間」より

チケット料金[日時指定・整理券番号つき自由席・税込]

一般前売:3,000円 当日:3,500円 / 学生&ユース(25歳以下)前売:2,500円 当日:3,000円 *要証明書提示

京都芸術劇場友の会割引:2,700円 *劇場チケットセンターにて前売のみ取扱

[本公演では劇場の舞台空間に客席を設置します。車椅子スペースを確保しますので、ご希望のお客様は事前に劇場チケットセンターまでご連絡下さい。]

チケット取り扱い[2008年1月11日(金)チケット発売]

- 京都芸術劇場チケットセンター(平日10:00~17:00) tel:075-791-8240
- 電子チケットぴあ tel:0570-02-9999(Pコード381-853) http://pia.jp/t
- JCDNダンスリザーブ http://dance.jcdn.org
- 京都芸術センターチケット窓口(直接販売のみ/10:00~20:00) 〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

企画・構成:山田せつ子

コレオグラフィー:山田せつ子 砂連尾理 白井剛

引用テキスト:ジャン・ジュネ『恋する虜』(鶴飼哲・海老坂武訳、人文書院刊) テキスト引用・編集:八角聡仁

ダンス:山田せつ子 砂連尾理 白井剛 寺田みさこ

佐藤健太郎 竹内英明 野瀬杏子 京極順彦

映像:伊藤高志 美術:杉山至 浅沼秀治 サウンド:稲垣貴士

照明:高原文江(真昼) 衣裳:権田真弓 構成補佐:相模友士郎

舞台監督:夏目雅也 浜村修司 舞台助手:米谷有理子 音響:大久保歩(KWAT)

映像アシスタント:新垣亘洋 制作:橋本裕介 山口幸子

舞台芸術研究センター:岩村原太(技術監修) 酒井徹(学芸) 竹下暁子 北本麻理 大塚千枝(制作)

主催・お問い合わせ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター / 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel: 075-791-9437 http://www.k-pac.org/

助成:財団法人セゾン文化財団 京都芸術センター制作支援事業



○JR「京都」駅・京阪「三条」駅・阪急「河原町」駅から
 →京都市バス5番系統「上終町・京都造形芸術大学前」下車
 ○市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅から
 →京都市バス204系統「上終町・京都造形芸術大学前」下車
 ○京阪「出町柳」駅から
 →叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分
 ※駐車場はございません。

【ポスト・パフォーマンス・トーク】

8日、9日の終演後、参加アーティストとゲスト・スピーカーによるポスト・パフォーマンス・トークを開催します。

- [ゲスト]
 8日…宇野邦一(フランス文学・思想)
 9日…石井達朗(舞踊評論家)

【公開トーク・セッション/ 応答する身体 「恋する虜—ジュネ/身体/イメージ—」から】

出演ダンサー、参加アーティストが「恋する虜」プロジェクトをさまざまな角度から検証します。

日時:2008年3月10日(月)14:00 会場:NA102(京都造形芸術大学 人間館)

※要予約 京都芸術劇場チケットセンター(tel: 075-791-8240)までお電話にてお申し込みください。

出演:鶴飼哲(フランス文学・思想)、山田せつ子、砂連尾理、白井剛、伊藤高志、八角聡仁ほか

